

## 第 2 章

### 施策 8 基本事業 1

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年 5 月 28 日
事務事業名	浄水関連施設管理事業				点検日		
担当部課G等	上下水道部 水道課		工務・管理グループ		事業類型	施設設営・維持管理	
					記入者氏名		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり				<input type="checkbox"/> 実施計画 対象事業
	施策名		8 安定的に水道水を供給する				
	基本事業名		1 水道水の安定供給				
予算科目		款	項	目	事業名	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 昭和49 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ～ 年度)						
事業概要							
【全体概要】 浄水場施設において安全な水をつくり、安定した水の供給ができるよう施設の維持管理を行う。					【業務内容】 施設の点検・清掃・修繕等		

## 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)						
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
浄配水施設				関連施設の数	箇所	8.	8.	8.	8.						
						0.	0.	0.	0.						
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
施設の点検・清掃・修繕の実施				点検清掃業務数	件	18.	17.	14.	14.						
				修繕業務件数	件	8.	3.	10.	10.						
						0.	0.	0.	0.						
						0.	0.	0.	0.						
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
施設が正常に移働するように維持管理を行い、安全な水を安定して供給することにより、快適な生活をしてもらう。 (普及率:常住人口を基とした、経営戦略による数値)				浄水施設が要因となる断水等の件数	件	0.	0.	0.	0.						
				水道普及率	%	99.39	99.39	99.4	99.4						
						0.	0.	0.	0.						
						0.	0.	0.	0.						
(2)投入量の推移				単位	05年度(実績)		06年度(実績)		07年度(見込)		08年度(計画)		09年度(計画)		総事業費
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0				
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0					
		地方債	千円	0	0	0	0	0	0						
		その他の	千円	119,205	161,201	158,495	161,792	164,518	0						
		一般財源	千円	0	0	0	0	0	0						
		事業費計(A)	千円	119,205	161,201	158,495	161,792	164,518	0						
	人件費計(B)	千円	7,053	1.25人	7,776	1.33人	7,320	1.33人	7,320	1.33人					
投入量(A)+(B)		千円	126,258		168,977		165,815		169,112		171,838				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等															
①事業を始めたきっかけ				取水場及び浄水場の施設が建設され稼働するに伴い、安定供給のための施設管理の業務が開始された。											
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか？開始時期と比べてどう変わりましたか？)				全体的に施設の老朽化が進んでいる。 平成27年～令和4年に瓜連浄水場を木崎浄水場に統合する形で更新(第Ⅰ期)工事を実施した。 令和5年～令和7年の計画で更新(第Ⅱ期)工事を実施中である。											
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか？)				安全安心な水道水の供給が求められている。											

前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	<b>(前回最終評価)</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	<b>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</b> 施設の点検結果、施設状況等を基に修繕計画を立て、優先度の高いものから修繕を行うことにより施設の健全な機能を維持した。	<b>(見直し内容に関する予算への反映)</b> <div> <input type="checkbox"/> 削減（事業費）<span style="float:right;">0千円</span>  <span style="margin-left: 100px;">（人件費）</span><span style="float:right;">0千円</span> </div> <div> <input type="checkbox"/> 増加（事業費）<span style="float:right;">0千円</span>  <span style="margin-left: 100px;">（人件費）</span><span style="float:right;">0千円</span> </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし         </div>
--	--	--	---

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>水道事業は、水道法により市町村による経営が原則のため。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>点検結果、修繕計画、施設状況等を基に優先度の高いものから計画的に予防修繕を行うことにより成果の向上を図る。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業はなく、安全で安心な水の供給をするためには廃止・休止はできない。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>水道法第1条により、水道の基盤を強化することによって、清浄にして豊富低廉な水の供給を図ることとなり、瓜連浄水場を廃止し事業の効率化を進めていること、燃料費、資材費、人件費等が高騰していることから事業費の削減余地はない。また、点検、水質調整、突発的な故障、修繕等に対応しながら常時飲料水の供給を行うことから人件費の削減余地はない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>水道事業は水道料金収入により運営しており、事業運営の経費等に見合った負担となっていることから適正である。</p>

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	→ <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → {			■ 有効性の改善    □ 効率性の改善 }
	{ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善			
↓ <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)				

---

改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)  
 点検結果、修繕計画、施設状況等を基に優先度の高いものから計画的に予防修繕を行うことにより大規模修繕に陥らないよう努め、成果の向上を図る。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上		○	
	維持			⊗
	低下	⊗		⊗

---

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☒ 継続    ( ☒ 見直し    ☐ 現状維持 )

改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)  
 安全安心である水道水の安定供給のためにも点検結果、修繕計画、施設状況等を基に優先度の高いものから計画的に予防修繕を行うことにより大規模修繕に陥らないよう努め、成果の向上を図る。

---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

---

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート				作成日	令和 7 年	6 月	4 日			
						点検日						
事務事業名	配水管網整備事業					事業類型	施設設営・維持管理					
担当部課G等	上下水道部 水道課		工務・管理グループ		記入者氏名							
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり				□ 実施計画対象事業					
	施策名		8 安定的に水道水を供給する									
	基本事業名		1 水道水の安定供給									
予算科目		款	項	目	事業名	根拠法令						
事業期間	□ 単年度のみ					■ 単年度繰返 (開始年度 昭和49 年度～)		□ 期間限定複数年度 ( 年度 ～ 年度)				
事業概要												
【全体概要】 基幹管路(導水管・配水本管)と配水支管の総延長は約549km。うち40年を経過した配水管としては約124km。 このような配水管については、道路拡幅工事等に伴い布設替えをすることにより耐震化を図る。老朽管更新については、国県道、JR水郡線横断部に埋設されている鋼管の布設替えを優先的にを行い耐震化を図る。また、老朽化が著しい消火栓の更新も進める。					【業務内容】 老朽化した配水管の耐震化及び消火栓の更新。 効率的に水を供給するために新たな配水管網の整備。							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
配水管						配水管総延長	m	547223.	549265.	550357.	551857.	553357.
								0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
新設管布設及び老朽管の更新の実施 (那珂市水道事業第2次基本計画に基づく)						第2次基本計画の10ヵ年計画更新延長	m	15385.	15385.	15385.	15385.	0.
R9年度以降については、那珂市水道事業第3次基本計画(R8年度策定予定)に基づき指標を定める予定である。						計画に基づく老朽管更新済延長	m	10982.	11275.	11439.	15385.	0.
						年度毎の配水管工事延長 (新設・更新)	m	2454.	2774.	1249.	1155.	1090.
								0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
老朽化した配水管及び消火栓の更新、配水管網の耐震化を進め、安全な水を安定供給することにより快適な生活をしてもらう。 (新設管進捗率:H29より第2次基本計画による数値)						管路更新の10ヵ年計画の進捗率(新設管)	%	71.4	73.3	74.4	100.	0.
						公道上の漏水事故件数	件	33.	37.	35.	33.	31.
						耐震化率	%	21.6	22.3	22.7	23.1	23.6
						有収率	%	89.34	90.96	91.	91.	91.
(2)投入量の推移						単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源地方債	千円	150,000	150,000	300,000	200,000	200,000	200,000	0	0		
	その他の	千円	153,281	154,326	203,228	109,674	45,403	0	0			
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	303,281	304,326	503,228	309,674	245,403	0	0			
	人件費計(B)	千円	11,087	13,365	15,372	15,372	15,372	2,333人	2,333人			
投入量(A)+(B)		千円	314,368	317,691	518,600	325,046	260,775					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		事業当初に整備された配水管の維持管理の効率化び給水件数の増に対応するため配水管網整備が必要となったため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどうか変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		水道普及率は99%を超えており、今後重要となる課題として配水管の整備・更新に合わせ管路の耐震化を行う必要がある。また、人口減少を想定した配水エリアを考慮し、優先順位を定めて管路の更新を行う必要がある。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		宅地増加箇所や建替えに伴う井戸水からの転換による需要給水量確保のため、配水管網整備の要望がある。 議会からは、老朽管の今後の対応や漏水についての対応などの意見がある。										

(4)前回(令和5年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み							
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 那珂市水道事業第2次基本計画及び漏水調査結果を基に優先順位を定め、災害時の被害等を抑制するため、主要道路、JR鉄道敷横断管路、重要施設である病院等の管路施設を順次更新し耐震化を進めた。 また、漏水調査結果を基に、確認された漏水管の修繕を行うことで有収率を向上させ、安全で安定した水の供給を図った。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) <input type="checkbox"/> 増加(事業費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td></tr></table> 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	0	0	0
0							
0							
0							
0							

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的 妥当性 評価	① 市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 水道事業は、水道法により市町村による経営が原則のため。
有効性 評価	② 成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されていませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？ <input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 那珂市水道事業第2次基本計画及び漏水調査結果を基に優先順位を定め、財源の平準化を考慮しつつ耐震管への更新を行い更なる成果の向上を図る。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 配水管網整備を行わない場合、漏水などにより有収率の低下や安全で安定した水の供給が困難となるため廃止・休止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げるに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 継続的に配水管網整備を行い健全な管路を維持管理することで安全で安定した水の供給を行うため事業費削減の余地はない。 また、成果を維持するためには、これ以上の人件費削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？ <input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 水道事業は水道使用料金収入により運営されており、水道使用量に基づいた負担となっていることから適正である。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載 <div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <div><input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善</div> → <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</div> <div>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 老朽管更新には莫大な財源が必要となることから計画的に進めていくことが重要である。近年の漏水調査結果や漏水事故による管路状況を確認したところ、経年から想定するほどの劣化が見られないことから茨城県が定める更新基準に合わせて更新計画を見直し更新周期を定める。重要施設までの管路や重要横断箇所の管路については優先的に更新を進めるとともに、立地適正化計画に基づき老朽管更新時に用いる管種を決定する。また、漏水調査を引き続き実施し速やかに漏水箇所の修繕を行うことで有収率を向上させる。</div> <div>改革・改善による期待成果 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></tbody></table></div>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</div> <div>改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じ場合も記入) 老朽管更新には莫大な財源が必要となることから計画的に進めていくことが重要である。近年の漏水調査結果や漏水事故による管路状況を確認したところ、経年から想定するほどの劣化が見られないことから茨城県が定める更新基準に合わせて更新計画を見直し更新周期を定める。重要施設までの管路や重要横断箇所の管路については優先的に更新を進めるとともに、立地適正化計画に基づき老朽管更新時に用いる管種を決定する。また、漏水調査を引き続き実施し速やかに漏水箇所の修繕を行うことで有収率を向上させる。</div>																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</div>																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <div><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )</div>																						

評価対象年度	令和 6 年度	事務事業評価シート			作成日	令和 7 年	5 月	29 日			
					点検日						
事務事業名	浄水場等更新事業				事業類型	施設設営・維持管理					
担当部課G等	上下水道部 水道課		工務・管理グループ		記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適に暮らせるまちづくり				□ 実施計画対象事業				
	施策名		8 安定的に水道水を供給する								
	基本事業名		1 水道水の安定供給								
予算科目		款	項	目	事業名	根拠法令					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ				<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(平成25 年度 ～ 令和11 年度)				
事業概要											
【全体概要】 那珂市水道事業は、那珂川・久慈川の両河川と地下水を水源として浄水し、配水を行っている。 浄水施設維持管理費のコスト削減を図るため、瓜連浄水場を廃止し木崎浄水場へ統合更新するものである。 H25～R4(第Ⅰ期更新事業)・R5～R7(第Ⅱ期更新事業) 後台浄水場においても老朽化が進んでいることから更新を行うものである。R7～R11(後台浄水場更新事業)					【業務内容】 現施設の一部改修と新しい施設の耐震化整備						
1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移					単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等					④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
更新対象の浄水場					更新対象の浄水場数	箇所	1.	1.	2.	1.	1.
							0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)					⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
現施設の一部改修と新しい施設の耐震化整備					整備実施の施設数	箇所	1.	1.	2.	1.	1.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)					⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
施設の安定した稼働が確保され、安全な水道水を供給できる。					事業進捗率(第Ⅱ期更新事業・計画総事業費に対して)	%	23.	66.	100.	0.	0.
					進捗率(後台浄水場更新事業・計画総事業費に対して)	%	0.	0.	3.1	4.7	30.1
						%	0.	0.	0.	0.	0.
							0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移					単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費
事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	23,413		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	300,000	300,000	200,000	0	400,000	6,641,000			
	その他	千円	27,976	231,863	164,351	35,860	148,350	1,795,245			
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	78,400			
	事業費計(A)	千円	327,976	531,863	364,351	35,860	548,350	8,538,058			
人件費計(B)		千円	7,104	1.25人	7,776	1.33人	7,320	1.33人	7,320	1.33人	
投入量(A)+(B)		千円	335,080	539,639	371,671	43,180	555,670				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ		瓜連浄水場・木崎浄水場は、耐用年数が過ぎ老朽化が進み施設機能が低下している。今回の浄水場更新事業において統合を行い、施設の維持管理を一元化し安定した浄水場機能を確保するために事業を開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		令和5年～令和7年の計画で木崎浄水場の更新(第Ⅱ期)工事を実施中である。 また、令和7年～令和11年の計画で後台浄水場の更新事業を進める。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		老朽化した施設の改修・改善が求められている。									

<p>前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？</p>	<p>(前回最終評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 終了</li> <li><input type="checkbox"/> 廃止</li> <li><input type="checkbox"/> 休止</li> <li><input type="checkbox"/> 統廃合</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 現状維持</li> </ul>	<p>(前回評価結果を踏まえて見直した内容)</p> <p>人件費、燃料費の高騰による物価の影響を受けたが、施設の施工方法等の再検討により事業費の抑制を図った。</p> <p>また、継続費による複数年の事業を行い、年度ごとの事業費の平準化を行った。</p>	<p>(見直し内容に関する予算への反映)</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <input type="checkbox"/> 削減（事業費）             <div style="margin-left: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50px; height: 20px;"></td><td style="text-align: right;">0</td><td style="width: 50px;">千円</td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td><td style="text-align: right;">0</td><td>千円</td></tr> </table> </div> <div style="margin-left: 20px;">(人件費)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> 増加（事業費）             <div style="margin-left: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 50px; height: 20px;"></td><td style="text-align: right;">0</td><td style="width: 50px;">千円</td></tr> <tr><td style="height: 20px;"></td><td style="text-align: right;">0</td><td>千円</td></tr> </table> </div> <div style="margin-left: 20px;">(人件費)</div> </div> <p><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</p>		0	千円		0	千円		0	千円		0	千円
	0	千円													
	0	千円													
	0	千円													
	0	千円													

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>① 市関与の妥当性</p> <p>●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>水道事業は、水道法により市町村による経営が原則のため。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>② 成果の向上余地</p> <p>●当初の見通しに沿った成果となっていますか？●成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>整備計画をより精査し、施工方法、機器類の仕様における再確認を行い、現時点での技術性能、価格を踏まえた上で、コストパフォーマンスが高い製品を選定することで更なる成果の向上を図る。</p>
<p>有効性 評価</p>	<p>③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性</p> <p>●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありますか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況が判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>類似事業はなく、安全で安心な水の供給をするためには廃止・休止はできない。</p>
<p>効率性 評価</p>	<p>④ 事業費や人件費の削減余地</p> <p>●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にそぐわない支出はありませんか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p>資材、機器等の価格が高騰しているが、工法及び設備機器類の再検討を行うことで事業費削減を目指す余地はある。人件費については、施設の維持管理と更新事業を行うにあたり、最小限の人数で行っていることから削減の余地はない。</p>
<p>公平性 評価</p>	<p>⑤ 受益者負担の適正余地</p> <p>●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない・負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？</p>	<p><input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部に「現状維持」以外にチェック)</p> <p><input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない</p> <p>水道事業は水道料金の収入による運営をしており、浄水場更新事業についても同様であることから適正である。</p>

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)

※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 統廃合	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善			■ 有効性の改善    ■ 効率性の改善
→ <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)				

---

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

施設更新に伴う施工方法、機器類の選定の再検討によるコスト削減や継続費設定による複数年度の事業とすることで、事業費の平準化を図り健全な水道事業経営を行う。

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上	○		
	維持			×
	低下		×	×

---

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☒ 継続    ( ☒ 見直し    ☐ 現状維持 )

改革・改善の具体的内容(1次評価者と同じの場合も記入)

施設更新に伴う施工方法、機器類の選定の再検討によるコスト削減や継続費設定による複数年度の事業とすることで、事業費の平準化を図り健全な水道事業経営を行う。

---

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )

---

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

☐ 終了    ☐ 廃止    ☐ 休止    ☐ 統廃合    ☐ 継続    ( ☐ 見直し    ☐ 現状維持 )